

声掛け・手助けの 心構えと仕方提示

新版「外出支援解説冊子」

全福協作成



最新版の表紙。デザインは毎回、リニューアルされている

全国福祉輸送サービス協会（漢二美会長）は、街中で高齢者や障害者、ベビーカーの親子連れの外出をサポートしようと、オリジナルの解説冊子「外出支援ボランティアの輪を広げよう」何かお手伝いできることはありませんか」の2024年版をこのほど作成した。

イラストを多用し、声掛け・手助けの心構えと仕方を分かりやすく示している。

冊子の内容・体裁は、前回から大きな変更はない。駅やバス停、タクシー乗り場などで困っている高齢者・障害者を見かけたら、一言、声を掛け、手助けすることを促す。高齢者、車いす利用者、視覚障害者、内

障障害者、発達・知的・精神障害者、ベビーカー利用者それぞれへの接し方を解説している。

車いす利用者への乗降介助では、車いすの折り畳み方・広げ方や溝、段差を乗り越える方法などを漫画調の絵で説明。聴覚障害者の「耳マーク」、妊娠中の「マタニティマーク」など、配慮を必要とする人を示すマーク、ピクトグラムが一覧できる。タクシーのユニバーサルデザイン（UD）車両や育児支援サービスも案内している。

主催するユニバーサルドライバークリニック（UD研修）や講師養成講座でも使用している。

本書は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。